

兵庫県伊丹市での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う野鳥緊急  
調査チームによる調査の結果について

(H30.3.10 16:00)

兵庫県伊丹市において3月1日に回収されたハシブトガラス5羽から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことを受けて、3月7日～10日に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況などの調査を実施しましたので、以下のとおり結果をお知らせします。

1 調査結果

3月7日～10日にかけて、兵庫県伊丹市の野鳥監視重点区域内（発生地点周辺半径10km圏内）の渡り鳥の飛来地計12地点等において生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施。大量死等の異常は確認されなかった。

また、渡り鳥の飛来地等において水検体（1地点）及び渡り鳥の糞便検体（計4地点）を採取。採取した検体等については、今後、鳥取大学等にて検査予定。検査において高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出された場合、検査結果は後日発表予定。

なお、調査チーム派遣期間内に行われた、兵庫県及び大阪府による当該10km圏内の監視においても大量死等の異常は確認されなかった。

(参考)

○観察された鳥類 47種

うち、検査優先種1 4種（ヒドリガモ、キンクロハジロ、カイツブリ等）

検査優先種2 4種（マガモ、ホシハジロ、オオバン等）

検査優先種3 11種（オカヨシガモ、ハシビロガモ、カルガモ等）

\*本調査結果は暫定値です。

\*検査優先種とは：「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、兵庫県及び大阪府と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

※ 環境省はホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。（[http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)）

平成30年3月10日（土）

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

室 長：西山 理行（内線6470）

感染症対策係長：岩野 公美（内線6676）

近畿地方環境事務所野生生物課

直 通：06-4792-0706

野生鳥獣感染症専門官：戸田 博史